**地域密着型サービス運営推進会議記録（第5回）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施設名 | グループホーム青葉園 | |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 | |
| 開催日時 | 令和3年　1月　29日　　　　13時　30分　～　　14時　30分 | |
| 会場 | グループホーム青葉園 | |
| 参加者 | 利用者代表 | 2人 |
| 利用者家族代表 | 0人 |
| 地域住民代表 | 2人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 1人 |
| 市職員 | 0人 |
| 事業者 | 4人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 前回（11月27日）からの活動[クリスマスツリー飾りつけ・年賀状づくり・F氏100歳お祝い・クリスマス会・初詣]を報告する。  入居状況・・・2ユニット18名入居　男性4名・女性14名  　　　　　　　平均要介護度2.4　平均年齢87.2歳  職員の状況・・常勤介護職員9名　夜勤専従職員2名  非常勤介護職員9名 |
|  |
| 議題 | 面会も9月28日から制限つきで解除していましたが、1月にはいってから徳島県下でも新型コロナ感染者が増えてきて高齢者施設でクラスターが発生、家族の方の要望もあり再び面会を1月21日より禁止にさせてもらいました。今回も紙面にて開催し文書・電話等で意見を頂きました。  ・徳島県の介護ロボット導入支援事業による補助金で、昨年末より見守り支援システム眠りスキャンを3台設置について  ＊眠りスキャンはマットレスの下に設置したセンサーにより、体動（寝返り、呼吸、心拍）を測定し、睡眠状態を把握します。パソコンやスマホなどの端末でリアルタイムに確認ができ居室での「睡眠・覚醒・起き上がり・離床」が分かるので職員の少ない夜間も利用者の状況に合わせた介護・見守りが可能になります。まだ1ヶ月余りなので、誤作動や不慣れな点もありますが、利用者の行動の変化が予測できるようになり夜勤職員の精神的負担は少なくなってきています。  ・コロナ禍でなかなか外出もままならず、帰宅願望が日によって強くなる利用者の対応について  ＊コロナ鬱、コロナ疲れが全国的にも問題となっていますが、外出がままならず帰宅願望が強くなって不穏状態になる方や活動量の低下により介護度が重くなる方が増えているようです。感染対策をしっかりとって、園庭で外気浴や散歩、プランターへの花植え、ドライブなど日中にしっかり活動されてはどうですか？  ＊自粛生活により、動かないことが増えて身体や頭の動きの低下が心配です。室内でもできる運動をするなど、お互い気をつけていきましょう。  ＊これから気候もよくなってくるので、少しずつ実施していきたいと思います。少人数で工夫してレクリエーション等できるよう考えていきたいと思います。 |
|  |